

消化器内科2012

Pub.	Language	Authors	Title	Journal	Year	Volume	Pages
原著論文	英語	Tsuji Kunihiro, Yasui Hirofumi, Onozawa Yusuke, Boku Narikazu, Doyama Hisashi, Fukutomi Akira, Yamazaki Kentaro, Machida Nozomu, Todaka Akiko, Taniguchi Hiroya, Tsushima Takahiro, Yokota Tomoya	Modified FOLFOX-6 Therapy for Heavily Pretreated Advanced Gastric Cancer Refractory to Fluorouracil, Irinotecan, Cisplatin and Taxanes: A Retrospective Study(Fluorouracil、irinotecan、cisplatin、taxane系薬剤に治療抵抗性の前治療歴の多い進行性胃癌に対するmodified FOLFOX-6療法 後向き研究)	Japanese Journal of Clinical Oncology	2012	42(8)	686-690
解説/特集	日本語	谷口 浩也, 福富 晃	【肝胆膵悪性腫瘍に対する分子標的療法の近未来的展望】胆道系、膵臓系腫瘍 Cetuximab	肝・胆・膵	2012	64(5)	701-710
解説/特集	日本語	山崎 健太郎	【大腸がんの薬物療法-最近の進歩】術後補助化学療法の新たな展望 分子標的治療薬は不要か?	腫瘍内科	2012	10(6)	490-497
解説/特集	日本語	福富 晃	【肝・胆・膵腫瘍の薬物療法-最近の進歩】膵がん 局所進行膵がんに対する化学放射線療法 今後の展望	腫瘍内科	2012	9(6)	708-717
解説/特集	日本語	戸高 明子, 福富 晃	【膵希少腫瘍の治療選択】膵退形成癌と膵未分化癌に対する薬物療法	胆と膵	2012	33(8)	669-674
解説/特集	日本語	横田 知哉	【分子標的薬-がんから他疾患までの治癒をめざして-】臨床研究 腫瘍性疾患の分子標的薬 頭頸部がんに対する分子標的薬を用いた治療戦略	日本臨床	2012	70(増刊8 分子標的薬)	428-433

消化器内科2012

Pub.	Language	Authors	Title	Journal	Year	Volume	Pages
解説/特集	日本語	吉田 幸生, 山崎 健太郎, 寺島 雅典	【臨床現場が知りたい大腸がん薬物治療】効果的な治療法の選択 専門医からのアドバイス ステージIIハイリスク症例に対する術後補助化学療法の是非について	臨床腫瘍プラクティス	2012	8(4)	379-384
解説	日本語	福富 晃	誌上ディベート 局所進行膵癌に有効な治療法とは 化学療法が有効の立場から	膵・胆道癌Frontier	2012	2(2)	78-82